

39 電気柵

イボ竹をガイシを使わずに電気柵の支柱とすることは一番やってほしくありません。イボ竹の中には鉄が入ってるんで、電線を直結すると電圧が下がり効果がなくなります。これが地域で電柵が効かなくなる一番の原因です。
(スタッフでテスターで測り)「3,200 ボルト。」
3,200?これは朝方には効かない電圧に下がりますね。この支柱の場合には、ガイシを使わないとだめです。これはせっかくガイシを使いながら、電線がイボ竹に付いているんです。これでは思い切り放電してしまいます。
もう一つは、電線は支柱の外側を通すこと。これ内側通しています。これでは支柱ごと倒されます。



41 電気柵

こういうイノシシがいつも出てくるところでは、電気柵がここで終わっているのは、致命傷になることがあります。田をすべて囲い込まないとだめです。ちょっと残念。



40 茂み

これが問題です。外側だけでも切っしてほしい。向こう側が一切見えないからはイノシシ安心します。電気柵するより先にこちらを切っしてほしい。



36 電気柵

(水田所有者の方) 前回の講習会で教えてもらって電気柵を設置しました。でも、隣の田の電気柵が昼間通電していなかったため、そこからイノシシが入り、この田にも入ってきました。

今の話でわかるように、皆がきちんと勉強して、電気柵は24時間通電が鉄則ということが地域に広がらないと、一人で努力してもそれが実らないことがあります。

電柵は、電柵張りながら電気切っただけの状態というのが、周りの電柵も全部効かなくなるので、張った以上は24時間通電ということです。これは是非やってほしい。イノシシに現在入られている田は、電気柵の電気を入れればなしにしてほしいくらいです。



37 電気柵

(水田所有者の方) こういう状態は敵るとか、草をかきよせて燃したほうがいいですか。

ここに出てくるのがイノシシだけなら、このままでも構いません。理由は、イノシシというのはモミが乳熟期になって初めてエサになるので、対応しなくても大丈夫です。シカも出てるなら電気柵が必要です。

(同上) シカは出てきません。ここに除草剤かけようと思います。

地域の皆が足並み揃うようになってからがいいです。理由は、この田では草を食べられなくても、他の田では食い放題の状態です。だからここだけ対策するというのもったいないです。それよりもこの田では早めに電気柵を設けて24時間通電をしたほうがよいです。電気柵を今からやっとならば、イノシシは「あそこは怖い」というようになります。

(同上) 電気道具、機械を盗まれるんです。

機械を盗まれるというのは大問題です。3件も4件もやられるというのは、盗んだやつをどこかで売っている可能性があります。

新しく機械を買う場合は、日本の電牧機協会に入っているメーカーだと1年間盗難保険がありますので、これをつけるといいでしょう。

もう一つは、防犯カメラとして獣害監視用のカメラを設置することが効果的です。また、警察に被害届けを皆で出すと、パトロール回数増やすなど対応してくれる可能性があります。

(同上) ありがとうございます。

44 電気柵

ここは、被害に遭いやすいということで、電気柵を2重にするなど非常に努力はされているんですが、電気柵の機械のところまでいつもイノシシが来てます。でも、ここは努力賞です!
やっぱり知っている知らないでは大違いということがあるので、皆で教えあいながら地域として知識を蓄積してください。難しいこと考えずに現場で勉強しながらちょっとずつ対策が上手になっていく、ということをお願いしたいと思います。



42、44 電気柵

43 カキの木

42 電気柵

(スタッフ) 3,500ボルトです。
3,500?この距離だったら6,000、7,000出ないと効きません。支柱と止め方、正しい張り方勉強したら、この距離なら7,000、8,000は出ます。
けど、一生懸命回っているということで努力賞なんですけども、イボ竹と電線を直結しないことと、電線は支柱の外側を通すということですね。



43 カキの木

真っ先にこのカキを切りたい。とても激しい丸星落葉病が出た痕跡があります。ということは8月から秋まで実が落ちていたということです。これでは動物が出続けます。



34 竹ヤブ<1>

竹やぶの管理ですが、今ここからみると奥を結構見渡せませす(①)。けど、葉が茂って中が見えないところがイノシシ思い切り安心させてしまうんです(②)。で、その横から出没してます(③)。ここは人の気配確認できる場所で、イノシシの出撃基地です。この裏にイノシシの国道が通ってます。葉などが目の前にちょっとあるだけでイノシシは隠れられてると思うんです。ここを奥行き1m半~2m刈るだけで隠れ家にならない。できる範囲でこっちに出てる葉を草刈り機で刈ってしまう。

覚えといてください。イノシシがタケノコを食いに来る竹やぶは、太さの違う竹がいっぱいあります。理由は、竹は12月にタケノコの準備をしますが、この一番目のタケノコが一番太い。竹はこれを食べると「えらいこっちゃ」と次のタケノコを準備します。これは少し細い。これも食われたら次のタケノコ、更に次のタケノコと、だんだん細くなっていく。イノシシが入ってタケノコを食べるほど、タケノコは次々出てきて、長い期間食べるから余計イノシシが居つくようになる。ここの竹は細い竹と太い竹とが混ざっている(④)。これは長年タケノコをイノシシが食ってる証拠です。

で、ここからが対策です。ここは手前が笹ですがこれをなくすと向こうまでスコーンと見える。するとイノシシ的には全体に出ていくことになる。「こっち来るの怖いね。」そうすると電気柵がよく効くようになる。「こわごわ出てきた柵は効く。」ということです。柵を設置する前にこれをやりたい。

もう一つは、竹ヤブの外側の竹は下枝をたくさん持つのに、ヤブの中の竹は上の方まで枝がないので、タケノコ出終わって一番外側の竹が枝出し終わるまで待って、下枝持っている外の竹だけを一律ずつ切ると、中を見渡せる竹林になります。

大磯町の条例がどうかはよく知らないけれども、今、野焼きは規制されていて、竹を引っ張り出してどこかで燃やすと苦情が来ます。でも、「ワラビあく抜き用の草木灰を作っている。」あるいは「イノシシを料理する火を焚いています。」ということであれば野焼きではない。そこらへんで、切ったやつ燃せるかどうか検討してもらいたい。



35 竹ヤブ<2>

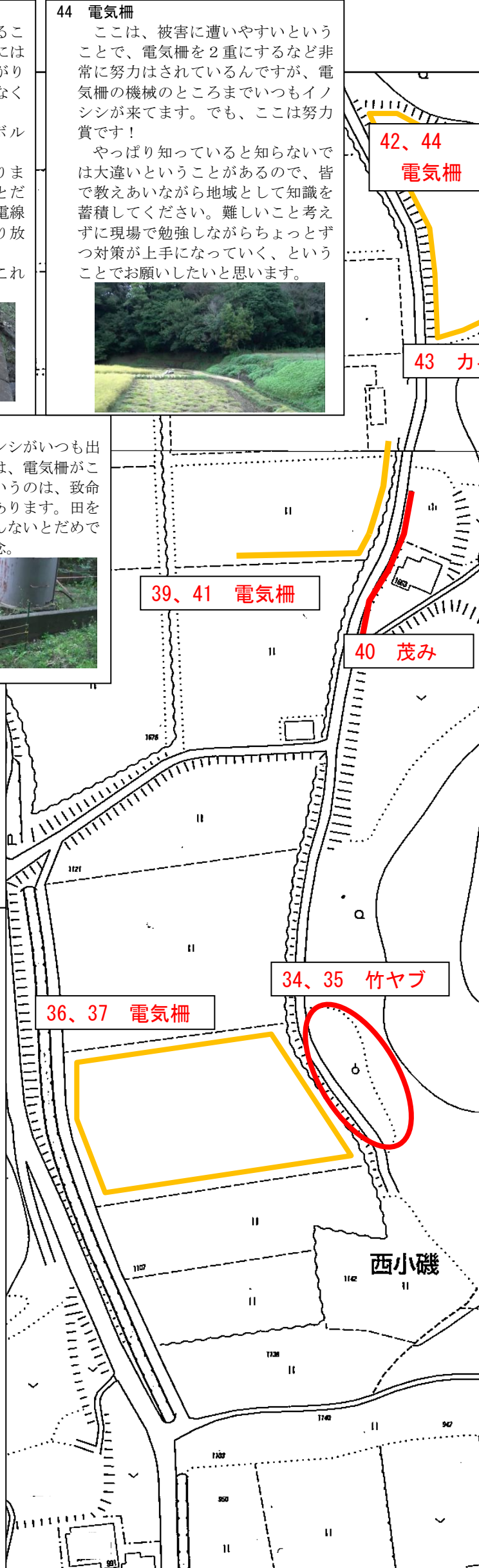
これは切らないとだめですね。イノシシこの下抜けられます。(水田所有者の方) これ、七夕に知らない人が竹とって、頭のいいとこだけとって残りを横に突っ込んで放置するんです。

このように複雑になっている場所(①②)はイノシシだけじゃなくいろんな動物が安心します。

もう一つは、今竹の花が咲いてますね(③)。これは来年、ぼわーっと枯れます。そのときに掃除のチャンスかも知れません。来年ごになったらこれ黄色くなります。

(同上) 持ち出してここで焼くと、警察に通報されるんです。

先に消防と警察に連絡して手続きをしておけば、大丈夫です。まずは町、消防、警察に相談してからやるとよいと思います。



23 堰堤と茂みの間

この堰堤と茂みの間に多分イノシシの国道がありますね。ここまでのどこかでイノシシが寝た可能性があります。堰堤と茂みの間は安心なんです。茂みなども下の部分だけ切ると、イノシシが隠れない。地面に引っ付きそうなものだけ切ります。



①⑦畦のカラムシ

イノシシもシカも大好物。本来今は枯れかけているはずなんです。それが今生えてるのは10月の草刈にあるんです。冬は絶好の兵糧攻めのチャンスです。真っ先にできることは9月上旬で草刈をやめ、10月は必要最小限以外の草刈はせず、冬枯れさせて、シカ、イノシシの兵糧攻めするという事です。



⑬水田

田の獣害の始まりは、漏水防止と代掻きの手抜です。代掻きがいい加減だと、中干のときに水溜りがいっぱいできるので、そこだけ青くてイノシシがいつでも好物の乳状のもみが食えること、水溜りに田んぼ中の生き物が全部集まるのでイノシシなどの動物が田んぼに来てしまいます。



漏水田では浮き苗がその外で着床して育つので、電柵を張っても電線の上に米がきて最初から電柵が効かなくなる。そこでは端の2条、山側は3条、田植えしないでイネと電柵の間を十分にします。



④ミカン畑の中

イノシシ・シカがとても喜びそうなやわらかい春草が芽吹いています。ミカンでもこの草でも食わせたらどちらも餌付け。収穫後も動物を入れたらいいけません。



25 土手の笹

びっしり茂った笹は、その際がイノシシにとって安心できるんですね。できたらこの笹を1年に1回刈ってほしい。刈らないと年々太くなって背も高くなるので、刈るのが大変です。自分より少し高い笹刈るときは、チップソーを新しい山林用の刃に替え、刃と安全カバーの間を許容範囲内で広げ、腰の高さで引っ張って切ります。切られた笹は切られた上が向こうに倒れますから簡単にできます。たったこの幅でイノシシうろうろしやすいんです。全部刈るのが無理でも1mだけ刈って2~3m先でもう1m刈る。お前ら動いたら見えるぞ!!それだけでも違います。



24 土手の斜面

ひもの草刈機は全部刈れない。柔らかい草がいつでもあるので、シカ、イノシシの隠れ家ができやすい。



⑩冬枯れの農地

茶色く枯れている色が冬景色。兵糧攻めの景色です。



⑨水路

こういう水路はイノシシの絶好の通路になるんですね。



⑧畦の草

これ冬の間伸びてくる草ばかりです。ということは稲刈り前後に刈払いしているということです。



⑭カキの木

赤い葉っぱに黒い点が見えるカキは丸星落葉病にかかったカキで、早くから実を落とすのでいつでもカキ食えるので、餌付けがずーっと続く事になります。



⑥自家作の農地

この椿も下の枝何本か切っただけで、動物安心できなくなる。この地面につきそうな下枝が動物的にすごく安心なんです。



29 畑

これはがんばっている畑。ミニトマトは7月の中ごろからとりきれないほどなので、それが落ちたり、柵にかぶさると外から取れるので、この畑のようにトタンから鼻突っ込んででも取れない状態にしてください。中の野菜の手入れのほうで、どんな柵を作るかよりも大事です。



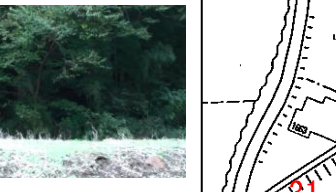
28 長靴

間違ったらだめです。長靴はイノシシには効きません。



30 山林の際

手前側にだけ木の枝いっぱいあります。イノシシがこの辺をうろうろする理由です。手前側1mだけでも垂れた枝切ると、イノシシは来にくくなります。



32 マコモダケ畑

21で説明したことやっています。土がえぐれてるところ、ボルトの重りして三角に3段張りにしています。



31 放棄されたウメ

夏場に気になるのは剪定してないウメです。剪定しないと枝がとて多くなるので、木の下が涼しくなり、そこに草が茂ったらそこで寝るようになります。収穫しないウメは切る。収穫するなら樹高を低く抑えるのが獣害対策の基本です。



26 畑のジャガイモ

植わっているジャガイモをイノシシ食ったら皆腹立てます。畑の外のは皆あまり腹を立てません。これが一番大事な2種類のエサ。どっち食われても餌付けになる、という意識になるということが大事です。



22 ビニタイ

電柵は支柱にグラスファイバー製を使うと安くつきます。電線止めもビニタイを使えるのでガイシも不要、距離を伸ばしても電圧が落ちにくい。この柵はイボ竹とガイシを使ってもいい使い方です。



⑮電柵

これが効かない柵の見本です。柵の真下にエサがあるんです。それから畑は秋に起こしますから、これから青々する草が生えます。青草は山にはがけ崩れた法面ぐらいにしかないんです。山は冬景色になるのに、里にいればエサ食い放題です。



⑫道端のブッシュ

イノシシはサトイモを食わないか思い込みはだめです。イノシシは自分が普段食べてるもので満腹なら別のエサに手を出しません。何々は食わないというのは、たまたま食わないのが来てただけです。何々を食わないというのは信用できません。



⑩道端のブッシュ

これマキと草がセットになって物陰作っています。こういうものが知らず知らずのうちに動物を安心させてしまいます。



⑩道端のブッシュ

ブッシュの中に小鳥が来て、つる草が生えると、向こうでイノシシがいても誰も気付かずに通ってしまう。



⑦自家作の農地

大きいイノシシでも目はこの高さにあります。イノシシ目線でここに隠られると思うかどうかという目で自分の庭や畑を見てください。



⑧自家作の農地のアカメガクア

植えてないのによく生えています。1年で高さ1.7m位になります。これは庭の木が背の高い合いになる指標になります。



⑨ビニールハウス脇

このメラカンサも小鳥を寄せます。ヤブ状になるとトゲで剪定しにくいので、小さな時から大きさを決め、太枝を寄せるような樹形にしてください。



③のミカン畑の防風樹

外がきれいに切っていて、幅が狭くなんとなしに向こうが透けて見える。あと60cm位まで下枝切ったら満点。



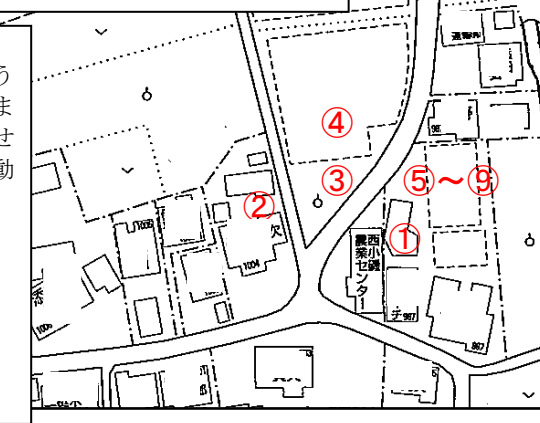
②農業センター前の庭木

造園屋さんがちょっと切った。これだけでイノシシ的にあの下涼しいという点数がちよっと下がる。



①採らないカキの木

人間が採らないカキが残っていると動物が食べ、よそでファンをして、またカキが生える。



39 ~ 44 は裏面

34 ~ 37 は裏面